

第 190 回広島ユネスコ講演会（ユネスコサロン）

『原爆資料を未来へつなぐ』 ～連載「ヒロシマ ドキュメント」の取材から～

さまざまな原爆の記録や証言を基に被爆から 80 年の広島の歩みをたどった中国新聞の連載「ヒロシマドキュメント」を担当した水川恭輔記者が連載を始めた経緯や主な内容、企画に込めた思い、今後の課題などを話されます。

日 時 2026 年 3 月 7 日（土） 14:00～15:30

会 場 広島国際会議場 3 階 研修室 3 （広島市中区中島町 1-5）

講 師 水川恭輔さん（中国新聞社編集委員室 編集委員）

講師紹介

岡山県岡山市出身。2007 年、中国新聞社入社。報道部、備後本社などを経て、2022 年から現職。被爆 75 年企画「ヒロシマの空白」、被爆 80 年企画「ヒロシマ ドキュメント」を取材班キャップとして担当。

主 催 広島ユネスコ協会

定 員 30 名

参加費 無料

問合せ・申込み 文化部会（高田）電話 090-4806-4063

